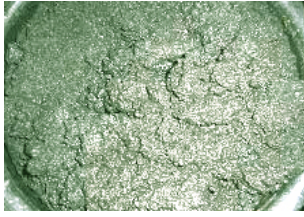


# 強酸化工法



家畜汚泥（有機汚泥）



強酸化により無臭の無機の土



鉄工所の研磨機



金属と砥石の汚泥



通常の土と強酸化工法の土の比較

この強酸化工法は、家畜の糞尿や鉄工場が発生する研磨汚泥等の有機汚泥を無機の無毒、無臭の土に変える方法です。家畜等の汚泥は強烈な匂いですが、強酸化工法により10分後から無臭の土に変える事が出来ます。通常、家畜の汚泥等は、肥料にしたりしますが、大変年月と手間暇かけて作りますが、10分後には通常の土に変えれますので汚泥が数分後には自然の土に変貌できる夢の工法です。マジックのような工法です。

## 概要

従来水処理から発生した汚泥(濁水)池の浄化、工場廃水、家畜、養豚排水、浄化槽排水等の汚泥は通常産業廃棄物として処分されてきました。今現在、中間処理場、最終処分場も汚泥量の多さで受け入れが困難になってきました。また、有機物汚泥は、気温が上昇する事により、悪臭を放ち、そばによる事も拒んでしまいます。それらの汚泥をリサイクルすれば、処分場へ持って行く車両経費代、人件費、処分場の負担も軽減出来ます。また、有機物汚泥が無機物になります。それらは、土の成分と同等、また、それ以上に栄養分が豊富な土に変わります。現在の産業廃棄物の悪臭のある汚泥は有機物ですから、植物に対して栄養分も豊富なのです。畑等の土として応用すれば、作物の育成にも大きな還元をします。また、浄化槽の汚泥等は、海洋投棄され地球上の海の汚染もあります。これらは、莫大な役所の予算を使用してされているものです。汚泥をリサイクルする事により地球環境も守れます。最近では、人口量の増加により、自然の力だけでは元に戻せないのも原状です。今汚泥は増える一方です。汚泥の削減、汚泥のリサイクルはこれから、私たちが、行なわなければいけないテーマです。

## 強酸化工法による化学反応

- (1) 汚泥に強酸化液を散布し、かき混ぜる事により、汚泥温度が急上昇します。
- (2) 汚泥温度が 40 度～80 度まで上昇する事により、汚泥に含むガスが化学反応により、(気化)泡立ち増す。それと共に、汚泥の色が土色に変化します
- (3) 化学反応が終了すると泡の吹き出しも止まり、時間を置く事により、通常の土になり、もう、その時には無臭の土になります

